

## 基本を忘れず 安全第一

美和木材協同組合  
河野祥太

私が林業という仕事に就くきっかけとなったのは、高校の先輩からの誘いでした。高校を卒業後、一時期他の仕事をしていましたが、もともと機械や自然が好きで、「自分もやってみたい」と思い、美和木材協同組合に再就職しました。最初は仕事の手順が何も分からず緊張の連続でしたが、先輩方から指導を受けながら少しずつ仕事を覚えました。

就職して間もなく、「緑の雇用」という研修があることを知り、林業の仕事をしていくにあたり必要な林業機械の免許取得や、安全に作業をするための講義や技術講習を受講しました。特に技術講習では、チェーンソーの点検・メンテナンス、伐倒作業の基本や安全なかかり木処理、集材・運材の一連の流れなど基本的なことを学ぶことができました。

これらの研修を受けたことにより、安全に対する意識や様々な技術の向上、研修生とのコミュニケーションなど、いろいろなことを学ぶことができました。

今後は、研修で学んだことを現場で活かすとともに、まだまだ経験不足なので引き続き先輩方からの指導を受け、日々少しずつレベルアップしたいと考えています。

また、伐倒作業を行なっているので、これからも初心や基本を忘れずに、安全第一で作業していきたいと思っています。そして、一人前の林業作業士として活躍できるように努力していきたいと考えています。

